

2025年 12月

モノ

小野寺史宜

モノ（mono）から想像するに読む前は単一の何かの小説かと思いましたが、読んでみると東京モノレールに関わる人の話でした。鉄道の中でもモノレールはこの辺ではほとんどのなじみがなく、それだけに東京モノレールを見ると、もの珍しさが感じられます。そんなモノレールのことなどこれまで意識することはありませんでしたが、モノレールだからこその仕事や生活感が描かれていて、ある方の人生を少しだけのぞかせていただいた感じになりました。モノレールということを特別意識していただくこともなく、ある小説というイメージで読んでいただけると楽しめると思います。恥ずかしながら小野寺史宜さんの作品は初めてでしたが、とても読みやすくすらすら読むことができました。季節感もまったくないおすすめ本になりましたが、ぜひ読んでみてください。

